

STANDARD、国内 No.1 グリセリンメーカーの阪本薬品工業と業務提携 DX 戦略パートナーとして AI リテラシー講座を含む DX 推進サービスを提供

DX 戦略パートナーとして、500 社以上の企業のデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）推進を支援する株式会社 STANDARD（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：石井大智、以下「当社」）は、2021 年 10 月 12 日、阪本薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：阪本稜雄、以下「阪本薬品工業」）と業務提携を開始したことをお知らせいたします。この度の業務提携により、STANDARD は、DX における戦略パートナーとして阪本薬品工業に当社の AI リテラシー講座をはじめとする各種 DX 推進支援サービスを提供してまいります。

■ 阪本薬品工業ご担当者インタビュー

・DX 推進を開始したきっかけについて

昨今 DX が市場を賑わせていますが、我々も興味を持ち、阪本薬品工業としても何かやらなくては、と上層部から指示を受け、具体的にやるべきことを考えるところから始まりました。そんな中、研究所から「材料開発に AI を取り入れたい」という話が上がり、AI のエンジンを持つ企業に相談しました。ところが、AI について学ぶうち、統計学をはじめとする様々な知識が必要だと感じたんです。そうして教育機関を探していたところ、STANDARD を知りました。関西でも e-learning で受講できた点が良かったです。データサイエンティストがたくさんいて、教育から一気に通貫で依頼できるという点も良いと思いました。

・DX 推進支援サービスを通して社員の皆様に望むこと

工場をスマートファクトリーにしていくにはどうすればいいか、考えていきたいと思っています。また、DX に関する基本的な知識を現場社員を中心に学んでもらいたいですね。STANDARD のデータサイエンティストは化学を知らず、弊社は AI を知らないという状況ではやはり会話が成立しません。経営陣が考えていることを具現化し、データサイエンティストに理解してもらう「翻訳者」が必要です。このサービスを通して DX や AI について学んでもらい、対話や議論ができるようになれば、と思っています。

■ DX 推進支援サービスとは

企業が DX 推進を行う際、「何から始めるか」「どんな壁にぶつかるか」は、その企業がおかれている状況によって変化します。当社では、企業がぶつかる壁を「人材の壁」「戦略の壁」「技術の壁」の大きく 3 つと定義し、その解決策となる「リテラシー教育」「コンサルティング」「技術開発支援」のサービスを、お客様の状況や課題に応じて、最適な形でご提案・ご提供しています。



■ 株式会社 STANDARD について

STANDARD は「ヒト起点のデジタル変革を STANDARD にする」ことをミッションとし、企業のデジタル変革を人材育成や開発支援、コンサルティングを通じ支援しています。これまでに 500 社以上の人材を育成し、エンジニア・マネージャーやビジネスパーソンまでを含めた AI 人材育成を強みとしております。また、東京大学や早稲田大学、慶応義塾大学を中心に 800 人の学生 AI エンジニアが所属する「HAIT Lab」などのネットワークを活かし、産学連携プロジェクトも行っています。

公式サイト：<https://standard-dx.com/>

■ 阪本薬品工業株式会社について

阪本薬品工業は、グリセリンを核に、ポリグリセリン脂肪酸エステルをはじめとするグリセリン誘導体を生産し、食品・化粧品・工業用など幅広い用途の原料として販売しています。

公式サイト：<https://www.sy-kogyo.co.jp/>